

情報連絡員報告総括表(令和5年4月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油・味噌製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者数の落ち着きやマスク着用ルールの緩和に伴い消費者のマインドが改善していることや、春休みや歓送迎会などの季節需要によって人流が増加していることで、飲食業や観光業での味噌醤油の動きが、コロナ禍前の水準まで戻ってきている。 ・原材料や副資材の高騰、価格改定の依頼が続いており、収益を圧迫している。取引先と再度価格交渉が必要であるが、お互いに様子伺いの状況である。 ・ホームページを活用した地産地消の取り組みや業界の新しい情報発信、商品企画などによって、富山県の味噌醤油業全体の発展、収益向上を目指して、新しくホームページを立ち上げるためのプロジェクトチームを発足した。
	パン製造業	↘	→	↗	→	↘	↘	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格の値上がりが止まらず、同じ商品が年3回以上も値上がりしている。 ・販売価格を値上げしたが、前年同月比で売上が減少している。 ・販売価格の限界が見えない壁のようにあり、それを超えると売れなくなる。
	豆腐製造業	↗	↗	↗	→	↗	→	→	→	→	・特になし。
繊維工業	ニット製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・受注状況は横ばいであるが、若干減少傾向である。 ・材料費や電気料金の値上がりによる収益の悪化が継続している。 ・販売価格の値上げについては、継続して交渉中である。
	絹人織織物製造業	↗	→	↗	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・化合繊維物、絹織物ともに、状況は前月と変わっていない。 ・原材料や、それ以外の副資材、繊維用油糊、梱包材などの値上がりが激しく、収まる気配がないにもかかわらず、製品の値上げが遅れており、収益を圧迫している。
	綿・スフ織物業	↗	→	↗	→	→	→	↗	↘	→	<ul style="list-style-type: none"> ・景況は改善されてきているものの、電力料、燃料費が高騰し、経営状況を圧迫している。
木材・木製品	一般製材業	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費や電気代、木材以外の各種住宅資材の高騰、住宅需要の回復が見込めないことなどから、稼働率が低下し、木材関連業者は一段と厳しい経営環境が続いている。 ・経営環境の悪化が長引いていることや、ロシアのウクライナ侵攻、円安、物価高も影響し、事業廃止に追い込まれた木材業者もある。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。

印	刷印 刷業	↘	→	↗	→	→	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・前月同様、販売価格は上がっているが、収益の回復には繋がっていない。 ・今後の見通しについて、まだまだ回復基調が感じられない状況が続いている。
化学・ゴム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・原料価格や燃料費の高騰に加え、人件費の上昇も収益を圧迫している。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の生コンクリート出荷量は、前年同月比11%の増加となっている。
	コンクリート製品製造業	→	→	↗	→	→	→	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足が続いている。
	骨材・石工品等製造業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・骨材需要は公共、民間とも低調な状況で推移している。 ・令和5年度も骨材販売価格について、製造原価の急激な増大に加えて、電気料金や重機・ダンプカーの燃料費、各種設備消耗品等様々な費用が急激に高騰し、企業努力では対応できない状況となっているため、2年連続の値上げを実施している。 ・得意先への値上げ説明の際には、品質管理上の問題で注文を付けられたところもある。

業種	項目	売上	在庫	販売	取引	収益	資金	設備	雇用	業界	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
		高	量	価	条	状	繰	操	人	景	
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	↗	→	↗	↘	↘	↘	↗	→	↘	・生産量は好調を維持しているが、休日の増加や残業削減などの働き方改革によって、慢性的に人手不足となっている企業が多い。 ・先行きの景況感は悪化している。
	銅・同合金鑄物製造業	↘	→	↗	↘	↘	→	→	→	↘	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	→	→	↗	→	↗	↘	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	↗	→	→	→	↗	・鉄工業製造部門は、前年同月に比べて生産受注が持ち直し傾向にある。 ・業界の景気は好転しているものの、受注が入っても製品材料の入荷が不安定なことや材料費が高騰していること、溶接作業による電気代の高騰、製品運搬費の高騰、物価高騰による賃上げ等、課題が山積している状況にある。
	めっき加工業	↗	→	↗	→	↘	→	→	→	↘	・売上は、昨年の販売価格の値上げが要因となり、前年同月比で増加している。 ・前年同月比でガス代は約50%、電気代は約35%増加しており、収益状況を悪化させている。
一般機器	金属工作機械製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	・受注状況について、前年同月比99.8%と全体的には横ばいだが、内容的には、軸受・油圧関係の落ち込みをロボット・工作機械でカバーし、横ばいを維持している。 ・自動車関係の減産問題もあり、今後の見通しは厳しいと見込まれる。
	金属加工機械製造業	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	↘	・特になし。
	非金属用金型製造業	→	→	↘	→	↘	→	→	→	↘	・原材料や諸物価の高騰、インフレ経費増が経営を圧迫する中、受注額への転嫁が多く契約においてできていない。特定される取引関係では交渉の余地もあるが、多数の見積によるオープンな市場においては、需要の低迷から逆に下落傾向にある。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	→	↗	→	→	↘	→	→	↗	↘	・電子部品業界は昨年夏季頃から業況が悪化している。 ・一部新発売の製品向け部品は増産傾向が続いているが、既存品の受注は大きく落ち込んでいる。 ・最終メーカーや流通業者では在庫が多い状態が継続しており、在庫を解消するほど需要は強くない。 ・原材料やエネルギーの高騰が続いており、コスト上昇に対する販売価格への転嫁は、単品製造している製造業に関しては進んでいるが、毎月継続量産している業態では契約上厳しい状況である。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・観光客の姿が見られるようになり、また、東京の展示会の売上も伸びており、これからの観光シーズンに向けて期待している。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↑	→	↑	→	↑	→		→	↑	<ul style="list-style-type: none"> ・袋セメント取り扱い数量は、前年同月を上回っているが、計画数量には及んでいない。 ・燃料や原材料価格の高騰、業界の人手不足など、様々な要因で建設意欲が失われていたが、各値上げへの抵抗感が薄らいだことで価格転嫁が進み、受注の採算は底入れの兆しが見えてきている。今後は建設案件の受注が増加に転じると思われる。
	非鉄金属製品卸売業	↓	↑	↑	↓	↓	↓		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・一般受注や記念品受注が少なくなっている。 ・一方、観光地京都から2年ぶりのリピート注文が入っている。人や物が動く連休明けには、多くの受注が入ることを期待している。
小売業	鮮魚小売業	↓	→	↓	→	↓	→		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業	→	→	↑	→	↓	↓		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・先月と動向に変化は無く、電力等光熱費の上昇によって収益状況は悪化している。価格転嫁も未だ十分に行っていない。
	野菜・果実小売業	↓	→	↓	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は不作のため、玉ねぎやジャガイモなどが高騰しており、4月の組合全体の売上は、前年同月比82%、富山卸売市場の売上は、前年同月比82%となっている。
	家庭用電気機器小売業	↓	→	↑	→	↓	→		→	→	・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
	ガソリンステーション	→	→	↓	↓	↓	↓		↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、コロナ禍からの経済回復などSSの経営環境は厳しさを増している。カーボンニュートラル対策を模索しながらも、平時・緊急時を通して燃料の安定供給に取り組んでいる。 ・4月は穏やかな好天に恵まれたものの需要の回復感弱く、ガソリン販売量は、前年同月比で横ばいか微増の見込みである。 ・ガソリン販売価格については、石油元売り会社への燃料油価格激変緩和補助金効果により、小幅な値動きが続いている。
	農機具小売業	↑	↓	↑	↓	↓	→		↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は価格高騰により伸びているが、収益状況は下がっている。
	ショッピングセンター	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同月比で4月の売上は100.1%、客数は99.2%となり、安定している。 ・大型連休には、普段見かけないお客様も多く来店され、コロナ禍前の状況に戻つつある。 ・マスクの着用について、お客様は個人の判断としているが、従業員については、変わらずマスク着用としている。
	ショッピングセンター	↑	→	↑	→	↓	↓		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・電気料金の高騰や物価高によって、管理・運営コストが上昇している。 ・消費者の節約志向が強まっている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・県外客だけでなく、海外観光客も増え始め、鮎店等では行列が見られる。 ・入込客は、コロナ禍前の同月とほぼ同じ状況である。 ・今年はイベント全てが実施される予定で、期待が大きい。
	商店街	→	→	↗	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・物販関係は少し減少、飲食関係は歓迎会等により大きく売上を伸ばしている。
サービス業	クリーニング業	↗		↗	→	→	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員の高齢化、後継者不足、業績悪化等による組合員数の減少が止まらず、今後の組合運営に支障をきたしそうである。
	飲食業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会の予約が入るようになってきている。
	建築設計業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の自動車新車新規登録・届出台数は、前年同月比で8ヵ月連続で増加しているが、コロナ禍前の状況には至っていない。依然として半導体不足による部品生産不足ではあるものの、年明け以降の単月実績は増加しており、受注残の解消に期待できそうである。 ・受注残の解消後は、ウクライナ情勢や為替市場、物価高騰の状況によっては、自動車の購買意欲が薄れ、新車販売台数の減少となることが予想される。 ・自動車整備事業者は、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題を抱えており、対応できない事業者は扱える車種が加速度的に減少していく状況である。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↗		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・中小鉄骨加工業者は、地場物件や見積もりが増えてきているものの、ゼネコンは受注競争をしているため、鋼材の値上がり分の価格の値上げは認めてくれるが、電力や輸送費等のコストアップ分は認めてくれない状況である。 ・大手鉄骨加工業者の仕事量については問題ないが、慢性的な人手不足によって、図面承認の遅延や工期のズレが相次いでいるため、工場稼働率は低下している。 ・コストアップや工場稼働率の低下は、全て加工費に跳ね返ってくるため、粘り強く単価交渉し、加工費を上げていかななくてはならない。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	<ul style="list-style-type: none"> ・景況に変化はない。 ・4月早々、各水道事業体から水道管工事が発注され、仕事の狭間期に大変助かっている。 ・インフラ(水道・下水道)整備に関し、地方の様々な意見や要望等について、富山県として情報交換してきたところである。
	電気工事業	→		↗	→	↗	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・電力送配電関連工事は、単価アップにより、収益状況は改善傾向にある。 ・工事量について、民間工事・公共工事ともに年度始めのため、横ばいである。5月からは、受注済み工事によって増加する見込みである。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料価格について、前年同月比-3.2円/ℓ前後と幾分改善しているものの、車両代、人件費等の経費が増加していることから、各荷主に対して運賃改定の申し入れを行っているが、交渉は難航している。
	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料価格について、前年同月比-2.9円/ℓと下がっているものの、依然として高値で推移している。前月比では+0.6円となっている。 ・物量については、前年同月比102.1%で、中でも飲料水の出荷は好調である。